

基本目標	1 稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる
------	--------------------------

## 1 基本目標の 2021 年度の成果評価

## (1) 基本目標

評価のポイント	未来デザインを上から下へ俯瞰する視点で方向性・妥当性の評価
① 基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	
<b>【評価】</b> <b>【課題】</b>	
下平 委員	<b>【評価】</b> ・妥当である。 ・エスバードを拠点としての産業振興と人材育成。 ・外貨を稼ぐ農林業の振興など目標に合致している。 <b>【課題】</b> ・コロナの影響も大きい、一歩踏み込んだ観光振興を。
橋爪 委員	<b>【評価】</b> ・地域の特性と状況とコロナの影響も思慮されている。妥当である。 <b>【課題】</b>
市瀬 委員	<b>【評価】</b> ・多岐にわたる分野のため包括することは難しいが認識は妥当と考える。 <b>【課題】</b>
清水（優） 副委員長	<b>【評価】</b> ・妥当 <b>【課題】</b> ・コロナ収束。
竹村 委員長	<b>【評価】</b> ・基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識は、概ね妥当と評価する。 <b>【課題】</b> ・飯田高校の生徒会が実施したアンケートでは、進学後の帰郷希望は28%、他地域への移住が33%との結果が出た。アンケートの集計内容を入手し、安心して働ける場がないと考えているのか等、様々な角度から分析し対応していくことが必要である。
清水(勇) 委員	<b>【評価】</b> ・評価できる <b>【課題】</b> ・各分野のコロナ対策と取り組みの検討が重要 ・認識は妥当と思うが、コロナを考えた KPI も必要ではないか
永井 委員	<b>【評価】</b> ・概ね妥当 <b>【課題】</b> ・コロナ禍で脚光を浴びたテレワークが、飯伊地域において、今後どの様に進んでいくかの見極め ・女性をはじめとする人材確保のため、ワークライフバランス、働き方改革を具体的にどの様に進めていくか

評価のポイント	戦略計画との関係性、目標達成への貢献度・成果の評価
② 取り組みの内容をどう評価するか  【評価】 【課題】	
下平 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 妥当である。</li> <li>・ ISO の取得や起業家ビジネスプランコンペ、市産材利用啓発活動補助金、1 日農業バイトなどは有効な取り組みである。</li> </ul> <p>【課題】</p>
橋爪 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍でもそれぞれの分野で事業が進捗している。成果も出始めていて妥当である。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持続可能な体制整備が必要。</li> </ul>
市瀬 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍においても新たに様々な取り組みがおこなわれ、成果を出したことは高く評価します。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雇用の拡大などには力が入っているが、外貨獲得（観光含む）というところまではまだ至っていない。</li> </ul>
清水（優） 副委員長	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 妥当</li> <li>・ 社会環境の変化を捉えた取り組みにより、起業・新産業創出マインドが高まってきた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業・オフィス誘致の取り組み強化とスピードアップが必要と考える。</li> <li>・ 地域内経済循環の推進にむけた、より具体的な取り組みが求められる。</li> </ul>
竹村 委員長	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本目標と戦略計画の連携が図られた取組内容となっており、また成果や目標達成に向けた課題認識、今後の展開方法が明確となっており、概ね妥当と判断する。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 龍江インター産業団地整備完了後を見据え、令和 5 年度早期の公募・誘致活動を開始するとのことであるが、下準備を念入りに行ったうえで企業誘致活動に取り組む必要がある。</li> <li>・ 天龍峡ナイトミュージアムも 2 回目を迎えたが、1 回目と 2 回目に大きな変化を感じられなかった。数回はこれでもよいと思うが、内容に変化を持たせていかないと来場者に「飽き」がきてしまうことから、変化を感じられる工夫が必要である。</li> </ul>
清水(勇) 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ感染症拡大の中ではあったが評価できる取り組みであった</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分野別の取り組み項目が多く、コロナ過での細部の取り組み検証が必要である</li> </ul>
永井 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「コロナの緊急経済対策に注力した。取り組みは概ね結果も出せた」と産経部長言。「稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる」まではとても行けなかったと思う。理解する</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7 波の状況を見ていると、ポストコロナを見据えつつも、ウイズコロナがしばらく続くのではないかと思うのだが</li> </ul>

## (2) 戦略計画

年度戦略 (小戦略)	1-①	地域産業の育成による高付加価値化
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 【成果】 【課題・方向性等】		
下平 委員	<b>【成果】</b> ・妥当である。6次産業化を支援するための流通業者と農業者のマッチングシステム。「ファブスタ★」を利用した多様な講座の開催。 <b>【課題・方向性等】</b> ・ISO取得のPRによる信頼性の向上。人材育成システムの構築と地元で活躍できる場の創出。	
橋爪 委員	<b>【成果】</b> ・ISOの取得や人材育成に取り組み役割を果たしている。 <b>【課題・方向性等】</b> ・付加価値を高めるには地域資源の活用によるデザイン力の向上がカギだと思う。	
市瀬 委員	<b>【成果】</b> ・「安心して働く」という面に関して積極的に関連した取り組みがなされている。 <b>【課題・方向性等】</b>	
清水 (優) 副委員長	<b>【成果】</b> ・エス・バードの更なる活用のための体制強化が図られてきた。 <b>【課題・方向性等】</b> ・6次産業化について、ワイン・シードルに限らず、生産者ニーズや市場ニーズを把握し取り組まれない。	
竹村 委員長	<b>【成果】</b> ・ISO/IEC17025 (試験所認定) の認定取得、信州フードスペシャリスト養成講座の実施、EMC シンポジウムの開催、デジタルものづくり工房「ファブスタ★」を利用した機器講習の実施、小中学生向けのデジタルものづくり体験講座の開催など、基本目標の達成のために概ね役割を果たしている。 <b>【課題・方向性等】</b> ・基本目標の達成に向けた課題認識・方向性は妥当と判断する。 ・ISO/IEC17025 (試験所認定) の認定取得に伴う更なる信頼性の向上と試験要員の強化及び体制強化に努められたい。 ・ワイン・シードル製造・販売事業者の補助金活用への支援も大切であるが、ワイン・シードルを作るための原材料 (特にぶどう) の確実な調達がみえないことから、原材料調達に向けた支援が必要である。	
清水(勇) 委員	<b>【成果】</b> ・コロナ過ではあったが取り組みないようは評価する <b>【課題・方向性等】</b> ・取り組み目標に対してコロナ過での具体的な取り組みをどのように進めるかしっかり検討する	
永井 委員	<b>【成果】</b> ・該当する進捗状況確認指標①②③は令和2年度とほぼ横ばいで、目標は達成しそう。試験所としては国際的な認証を取得 <b>【課題・方向性等】</b> ・6次産業化を積極的に進められたい	

年度戦略 (小戦略)	1-②	地域内経済循環の推進
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 【成果】 【課題・方向性等】		
下平 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね妥当である。地産地消プラットフォーム「まちの八百屋」機能の構築、ネスクイダの事業や、地域内連携した商品開発の支援。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「南信州地産地消協議会」を中心とした、効果的な取り組みの推進。</li> </ul>	
橋爪 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「南信州地産地消協議会」も実質的な活動が始まり役割を果たしている。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ化における状況を捉えて取り組む。</li> </ul>	
市瀬 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「まちの八百屋」システム構築をはじめとする取り組みはその役割をなしていると考えている。今後の発展を期待する。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p>	
清水(優) 副委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研究・試行段階であり、今後の成果に期待したい。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業者へのアプローチのみならず、市民(消費者マインド)へのアプローチも同時に取り組まれない。</li> </ul>	
竹村 委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「まちの八百屋」機能の構築に向けた取り組み、「飯田市域産域消の食育店」の拡大、循環の基本的な考え方等の整理を始め、基本目標の達成のために概ね役割を果たしている。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本目標の達成に向けた課題認識・方向性は妥当と判断する。</li> </ul>	
清水(勇) 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ過により、人の交流、品物の流通が少ない中での取り組みは評価する</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ過においての戦略を具体的検討して取り組む</li> </ul>	
永井 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>該当する進捗状況確認指標④⑤⑥は、ほぼ目標は達成しそう。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「まちの八百屋システム」構築に期待したい</li> </ul>	

年度戦略 (小戦略)	1-③	事業継続と新たなビジネスモデルへの取り組み支援
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 【成果】 【課題・方向性等】		
下平 委員	【成果】	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね妥当である。事業継承支援について再編成を行う。(第三者による継承から親族、会社内による継承)</li> </ul> 【課題・方向性等】 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業者の意識調査は是非実施してほしい。</li> </ul>
橋爪 委員	【成果】	<ul style="list-style-type: none"> <li>DX化推進の支援やメディアへの情報発信等役割を概ね果たしている。</li> </ul> 【課題・方向性等】 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業者への専門的支援体制の強化が必要。</li> </ul>
市瀬 委員	【成果】	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り組みは役割を果たしている。</li> </ul> 【課題・方向性等】
清水 (優) 副委員長	【成果】	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの取り組みや社会環境の変化もあり、起業・新産業創出マインドは高まってきた。</li> </ul> 【課題・方向性等】 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業承継問題と起業家とをつなげる取り組みを展開されたい。</li> <li>農村起業家育成スクール(中山間地域振興事業(No.17)基本目標9-③)との情報共有・協業は相乗効果を期待できる。連携して取り組まれない。(基本目標2-③にも記載)</li> </ul>
竹村 委員長	【成果】	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業承継支援の再編成、DXワーキンググループの立ち上げ、地域の起業家支援を始め、基本目標の達成のために概ね役割を果たしている。</li> </ul> 【課題・方向性等】 <ul style="list-style-type: none"> <li>基本目標の達成に向けた課題認識・方向性は妥当と判断する。</li> <li>DX推進にあたっては、DXのあるべき姿(共に育つための小さなコミュニケーションの形成、円滑なコミュニケーション機会の創出、気づきの機会の提供)とDX推進に必要なもの(管理・オペレーション・ガバナンスの3つの力に着眼、情報を継続して収集し分析すること)を参加企業に対していかに浸透させていけるかが課題である。</li> </ul>
清水(勇) 委員	【成果】	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ過における事業継承への支援と対応は大変だったと思う</li> </ul> 【課題・方向性等】 <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ過においては、製造(農工商)分野と情報分野のマッチング重要な課題と考える</li> </ul>
永井 委員	【成果】	<ul style="list-style-type: none"> <li>該当する進捗状況確認指標⑦～⑩によると目標達成は厳しい状況</li> </ul> 【課題・方向性等】 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業承継は、今後益々大きな課題になると思う。第三者承継中心の取組みからの変更は正しいと思う。寄り添っていくしかない</li> <li>デジタル人材の招聘、育成が今後益々必要となる。飯田コアカレッジとの連携をどうするか</li> </ul>

年度戦略 (小戦略)	1-④	地域産業を支える担い手の育成・確保と起業家の育成
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 【成果】 【課題・方向性等】		
下平 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妥当である。「信州大学航空機システム共同研究講座」の学生へ給付型奨学金の支給。新規就農者への補助金や、農機具・農業施設のマッチングなど。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エスバード関連事業には多くの財源確保が必要である。</li> </ul>	
橋爪 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全般的に役割は果たしている。特に就農者への支援は良くできている。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学位取得者が地域内で起業できるようになれば。</li> </ul>	
市瀬 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンソーシアム体制の構築など新たな取り組みは良い動きだと思います。</li> <li>・概ね役割を果たしている。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファブスタをもっと活用出来ないか。</li> </ul>	
清水 (優) 副委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妥当</li> <li>・起業家育成については2022年度計画では1-③に整理された。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化の時代に入り、特に建築・土木関係の技術・技能者の確保・育成が急務である。実効性のある施策を早急に講じられたい。例えば、雇用対策事業 (No. 145) のつなぐ事業において、当該事業者への集中的アプローチ。また、技能者育成支援事業 (No. 146) を戦略計画に紐づけ、拡充する等。予算提言も視野に入れたい。(基本目標 12-⑤にも記載)</li> <li>・エス・バードで学び、学位を取得した若者が飯田下伊那との繋がりが保てると良い。</li> </ul>	
竹村 委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・航空機システム共同研究講座の2期目スタート、ランドスケープ・プランニング共同研究講座開設に向けた準備、新規就農者支援内容の拡充、起業家ビジネスプランコンペティションを通じた起業家支援を始めとして、基本目標の達成のために概ね役割を果たしている。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標の達成に向けた課題認識・方向性は妥当と判断する。</li> <li>・共同研究講座の安定した資金調達が図られるための仕組み作りを確立することが必要である。</li> </ul>	
清水(勇) 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ過においてのねらいと取り組みは評価する</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題、方向性の項目はコロナ過でどのように取り組むか具体的な検討に取り組む</li> </ul>	
永井 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当する進捗状況確認指標⑪⑫は、目標達成は難しそうだが、⑬⑭は達成しそう</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「信州大学航空機システム共同研究講座」卒業生への期待は将来への貢献と。理解はするが、それまでどうするか</li> <li>・信州大学新学部誘致は、小戦略③の取り組みの課題からしても何ともしても成功させたい</li> </ul>	

年度戦略 (小戦略)	1-⑤	地域が支える農林業の推進
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		
【成果】 【課題・方向性等】		
下平 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 妥当である。意欲ある生産者への多様な補助金（チラシ等でPR）。森林整備を行った民有林に対しての補助金や、未利用材活用への補助金新設など。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農林業従事者の高齢化への抜本的な対策。</li> </ul>	
橋爪 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全般的に支援や施策が実行されており概ね役割を果たしている。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 林業関係は様々に取り組みが遅れている。</li> </ul>	
市瀬 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取り組みは役割を果たしている。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p>	
清水（優） 副委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 妥当</li> <li>・ 夏秋きゅうりと市田柿の推奨等の効果か、稼ぐ若手新規就農者が見られるようになってきた。</li> <li>・ 2022年度計画地域が支える・・・を、地域に根差した・・・に変更された。良い。農林業をいつの日か、地域を支える産業にしていきたい。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業者向けの各種補助事業について、情報提供不足・理解不足により十分に活用されていない事例が見受けられる。今年度作成したガイドを使い、兼業農家や農機具販売店（間接的に農業に関わる事業者等）にまで情報提供を行う等、実効性のある活用促進を図られたい。</li> <li>・ 農機具・施設のあげます情報（農業振興センター事業（No. 153）は、特に農業を始める際には大変有効であり、受益者双方の需要は高く更なる活用が期待されるが、現在のサイトは検索しづらく、利用度向上は期待しづらい。例えば、飯田市地域情報アプリに掲載するなど、アクセスしやすくすることにより、認知度向上や利便性向上に取り組まれたい。また、今後の展開として飯田市のみならず周辺町村の情報も掲載・マッチングできるよう広域連合での展開を視野に進められたい。</li> <li>・ 自伐を推進するには、自伐した木材をどう活用するかがキとなる。活用を促す取り組みを検討されたい。</li> </ul>	
竹村 委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市田柿の輸出量の増加、一日農業バイトの活用実績の増加、市有施設への地域産材の活用や認証材のPR、搬出補助金の活用による林地残材の発生抑制とあわせ未利用材の活用を図るなど、基本目標の達成のために概ね役割を果たしている。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本目標の達成に向けた課題認識・方向性は妥当と判断する。</li> <li>・ 未利用材（林地残材）の多方面への活用（薪としての販売、土木建築資材としての活用等）の研究・検討を進めていくことが必要ではないか。</li> </ul>	
清水(勇) 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小戦略内容は評価できる</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市田柿は生産者の品質の維持向上の取り組み、国内消費、新商品開発の検討が重要と思う、林業は今後の方向性の具体的取り組み早期検討</li> </ul>	

永井 委員

【成果】

- ・進捗状況確認指標⑮～⑲からすると、目標を概ね達成しそう

【課題・方向性等】

- ・農業、林業ともに、地域の将来にとって大事な事業。引き続き創意工夫して取り組まれない



年度戦略 (小戦略)	1-⑥	経済効果を生む観光産業の推進
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		
【成果】 【課題・方向性等】		
下平 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね妥当である。「天竜峡」「遠山郷」などポイントを明確にした観光振興。</li> <li>遠山郷観光振興室の新設。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「旅の目的地」を目指す具体的なプロモーション。</li> </ul>	
橋爪 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ化に於いて難しい事業ではあるが、天竜峡の魅力発信やかぐらの湯に対する整理ができつつあり目的を果たしている。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旅の目的地となる魅力の開発・提供・発信をする。</li> </ul>	
市瀬 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アフターコロナに向けた取り組みは今後には活化されると思う。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光客などは減っているが、今後を見据えて活動の維持が必要。</li> </ul>	
清水 (優) 副委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>妥当</li> <li>コロナ後を見据え、今できることを取り組んできた。準備は進んでいる。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ後の天竜峡エリア・遠山郷エリアの地域振興にむけた新たな動きを引き続き支援されたい。</li> <li>遠山郷の施設管理について、選択と集中を図られたい。①に関連し予算提言を視野。</li> <li>リニア駅から“いざなう” リニア時代の周遊観光の検討に着手されたい。</li> </ul>	
竹村 委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マイクロツーリズムの催行、コロナ禍においても開催した「南信州天竜峡マルシェ」や「天竜峡ナイトミュージアム」、かぐらの湯における休日のテント市の開設、しらびそ高原におけるダークナイトツアーの実施を始めとして、基本目標の達成のために概ね役割を果たしている。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本目標の達成に向けた課題認識・方向性は妥当と判断する。</li> <li>飯田に住んでいる人が来訪者に対して胸を張って「飯田にはこんな見どころがある」と言えるようになるためにも、「南信州ふるさと再発見の旅(マイクロツーリズム)」の企画の幅を広げていくことが更に求められる。</li> </ul>	
清水(勇) 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ過でのイベント開催、各種取り組みは評価する</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ過での情報発信と地域でのコロナ対応の具体的な取り組みの整備、イベントの継続性、かぐらの湯の方向性の早期取り組み</li> </ul>	
永井 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進捗状況確認指標⑳～㉒からすると、目標値に大きく届かなかった。コロナの影響だろう</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「サザエさん」オープニング放送効果が大きいことから、マスコミを利用した発信、芸能人の来飯を積極的に進められたい</li> <li>ポストコロナを見据えることも大事だが、ウイズコロナをどう進めていくかも考えられたい</li> </ul>	

年度戦略 (小戦略)	1-⑦	働きやすい環境づくりの推進
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		
【成果】 【課題・方向性等】		
下平 委員	<b>【成果】</b> ・概ね妥当である。 <b>【課題・方向性等】</b>	
橋爪 委員	<b>【成果】</b> ・概ね役割を果たしている。 <b>【課題・方向性等】</b> ・職種別に取り組む方法について検討が必要。	
市瀬 委員	<b>【成果】</b> ・イイダカイシャナビはすごく見やすくなり、情報も見つけやすくなった。役割は果たしている。 <b>【課題・方向性等】</b>	
清水 (優) 副委員長	<b>【成果】</b> ・評価しづらい <b>【課題・方向性等】</b> ・1-④に統合されたので特になし。	
竹村 委員長	<b>【成果】</b> ・「イイダカイシャナビ」にワークライフ・バランスコーナーの設置や YouTube 動画の制作を始めとして、基本目標の達成のために概ね役割を果たしている。 <b>【課題・方向性等】</b> ・基本目標の達成に向けた課題認識・方向性は妥当と判断する。 ・YouTube 動画の視聴回数が少ないことから、視聴してもらうための仕掛けを検討する必要がある。	
清水(勇) 委員	<b>【成果】</b> ・妥当と思う <b>【課題・方向性等】</b> ・対照が限られていると思うが必要なことである	
永井 委員	<b>【成果】</b> ・進捗状況確認指標からすると、取組みそのものが難しいと思われる <b>【課題・方向性等】</b> ・基本目標 1 に位置付けたことは正しかったと思う ・労働行政は国の事務、国の政策次第かもしれないが、市として出来る事を一つひとつ実施してほしい	

年度戦略 (小戦略)	1-⑧	企業誘致、オフィス誘致の推進
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		
【成果】 【課題・方向性等】		
下平 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね妥当である。リニア発生土を活用した産業団地の整備。「地方創生テレワーク交付金」の申請が採択。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サテライトオフィス誘致での効果的なPR。</li> </ul>	
橋爪 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね役割を果たしている。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三遠南信道路の開通に備えた企業誘致。</li> </ul>	
市瀬 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね役割を果たしている。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p>	
清水 (優) 副委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>妥当</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業団地の整備については、戦略的・政策的な観点から好適地（企業・飯田市双方にとって有益性の高い候補地）を選定し、リニア発生土の活用も考慮し、よりスピード感をもって進められたい。</li> </ul>	
竹村 委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エス・バード内へのインキュベート室の増設やコワーキング個室ブースの設置、サテライトオフィスへの企業誘致を始めとして、基本目標の達成のために概ね役割を果たしている。</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本目標の達成に向けた課題認識・方向性は妥当と判断する。</li> </ul>	
清水(勇) 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ過ではあるが取り組み内容は評価できる</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後の方向性に掲げている項目の具体的実現に取り組む</li> </ul>	
永井 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進捗状況確認指標からすると、目標は達成している</li> </ul> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政も認めているが、製造業の誘致とノウハウが異なるサテライトオフィス誘致に、全力をあげてもらいたい</li> </ul>	

## (3) 実績を踏まえた事業確認

評価のポイント	現状確認と今後に向けた課題・方向性等
2022 年度戦略の方向性・妥当性、社会的環境変化への適応状況等を反映しているか	
下平 委員	・妥当である。小戦略を 8 から 7 とし、評価指標も 26 から 24 としている。
橋爪 委員	・現在の状況をしっかり分析し 2022 年の方向性に示されており、評価できます。
市瀬 委員	・反映されている。
清水 (優) 副委員長	・妥当 “稼ぐ” の打ち出しに象徴されるように、より地域経済性を意識した具体的な計画となっている。コロナ禍が続き、取組と実績が比例しない状況が続くが、概ね今後に期待が持てる内容となっている。
竹村 委員長	・現状分析に基づく今後の方向性が 2022 年度戦略に反映されており、概ね妥当と判断する。
清水(勇) 委員	・コロナ過での取り組みの大変なこと、農産物需要の低下、製造業の生産品の変動、観光業の激変などを想定した状況把握はしていると思う
永井 委員	・小戦略①に、「省力化・生産性を高めるために、IoT、AI ロボット化に取り組む事業者を支援します」を位置付けたことは評価する

## (4) 進捗状況確認指標

評価のポイント	達成度を成果指標等により評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等は、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か	
下平 委員	・ 製造業、農林業、商業、観光業と幅広い分野を 26 もの指標で業務評価しており妥当である。1 日農業バイトなどは目標を上方修正しては。
橋爪 委員	・ 25 項目とにわたる指標により進捗一目で理解でき妥当である。
市瀬 委員	・ 概ね指標は妥当と考える。 ・ 市民農園の利用区画数は必要なのか。
清水（優） 副委員長	・ 妥当
竹村 委員長	・ 進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等は、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当と判断する。
清水(勇) 委員	・ KPI についてはコロナ過での正常な値が出せるとは思わない、表に明記してもよいのでは ・ 妥当と思うが R3 年度の指標はコロナ過なので参考
永井 委員	・ 概ね妥当

## (5) 分野別計画

## ▼いいだ未来デザイン 2028 戦略計画【2021（令和3）年度】分野別計画一覧

評価のポイント	評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	
② 取り組みの内容をどう評価するか	